

平成
30年

第1回定例会

定例会の主な内容

平成30年度一般会計予算など
15件の議案を審議

平成30年第1回村議会定例会が、3月7日から16日までの10日間の会期をもって招集され、村及び教育執行方針のあと、補正予算や条例の改正など10件を審議し、原案のとおり可決いたしました。最終日は、予算審査特別委員会で審議した新年度予算5会計を原案のとおり可決した他、一般質問を4名の議員から行い、閉会いたしました。
主な内容は次のとおりです。

条
例

◎職員給与に関する条例の一部を改正する条例について

労働基準法の趣旨に鑑み、職員の勤務1時間当たりの給与額の算出基礎額に寒冷地を含めるため、本条例を改正するものである。

◎新篠津村国民健康保険条例の一部を改正する条例について

本年4月より保険者が市町村から都道府県となるため本条例を改正するものである。

◎新篠津村国民健康保険事業財政調整基金条例の一部を改正する条例について

新制度移行後の国保に係る基金について、厚生労働省より、安定的な給付を確保するために活用することが示されたため、本条例を改正するものである。

◎新篠津村介護保険条例の一部を改正する条例について

介護保険料の改定を行う他、介護保険法の一部が改正されたため本条例を改正するものである。

◎新篠津村宮土地改良事業の経費の賦課徴収に関する条例の全部を改正する条例について

土地改良法の一部改正に伴い、規定の整備を行うため、本条例を改正するものである。

予
算

【平成29年度補正予算】

◎一般会計
歳出補正の主な内容

〈総務費〉

・ 財政調整基金積立金 6000万円

・ 減債基金積立金 339万円

・ 公共施設営繕基金積立金 2000万円

〈民生費〉

・ 国民健康保険特別会計繰出金 315万円

〈農林水産業費〉

・ 担い手確保・経営強化支援事業費補助金 300万円

〈今回の補正額〉

1446万円

〈補正後の予算総額〉

32億8763万円

平成29年度3月補正予算

会計名	補正額(万円)	補正後の予算額(万円)
一般会計	1,446	32億8,763
国民健康保険特別会計	2,970	7億8,146
農業集落排水事業特別会計	△126	6,974
介護保険特別会計	744	3億7,712
後期高齢者医療特別会計	48	4,739

◎国民健康保険特別会計
歳出補正の主な内容

・ 保険給付費 5723万円

・ 管理費(市町村事務処理標準システム導入等) △1166万円

〈今回の補正額〉

2970万円

〈補正後の予算総額〉

7億8146万円

◎農業集落排水事業特別会計

歳出補正の主な内容

- ・浄化センター管理委託料等

△126万円

△126万円

△126万円

△126万円

△126万円

△126万円

◎介護保険特別会計

歳出補正の主な内容

- ・保険給付費

1320万円

1320万円

1320万円

◎後期高齢者医療特別会計

歳出補正の主な内容

- ・後期高齢者医療広域連合納付金

56万円

56万円

56万円

56万円

56万円

56万円

56万円

56万円

56万円

56万円

56万円

56万円

56万円

56万円

56万円



◎平成30年度当初予算

歳入

- ・地方交付税

15億3000万円

15億3000万円

15億3000万円

15億3000万円

15億3000万円



◎一般会計

歳入

- ・人件費、扶助費、公債費

10億4982万円

10億4982万円

10億4982万円

10億4982万円

10億4982万円

10億4982万円

10億4982万円

10億4982万円

10億4982万円

10億4982万円

10億4982万円

10億4982万円

10億4982万円

10億4982万円

10億4982万円

10億4982万円

10億4982万円

10億4982万円

10億4982万円

10億4982万円

10億4982万円

10億4982万円

10億4982万円

10億4982万円

10億4982万円

10億4982万円

10億4982万円

10億4982万円

10億4982万円

10億4982万円

15億3000万円

15億3000万円

15億3000万円

15億3000万円

15億3000万円

15億3000万円

15億3000万円

15億3000万円

15億3000万円

15億3000万円

15億3000万円

15億3000万円

15億3000万円

15億3000万円

15億3000万円

15億3000万円

15億3000万円

15億3000万円

15億3000万円

15億3000万円

15億3000万円

15億3000万円

15億3000万円

15億3000万円

15億3000万円

15億3000万円

15億3000万円

15億3000万円

15億3000万円

15億3000万円

15億3000万円

15億3000万円

平成30年度当初予算

会計名	予算額(万円)	前年度比(%)
一般会計	39億400	20.7
国民健康保険特別会計	6億5,600	△12.3
農業集落排水事業特別会計	6,800	△4.2
介護保険特別会計	3億8,200	6.7
後期高齢者医療特別会計	5,300	12.8
合計	50億6,300	13.5

議会日誌

【2月】

議員協議会
第1回村議会定例会
(16日)

6日 石狩管内町村行政懇談会 (札幌市)

7日 札幌広域圏組合議会定例会 (札幌市)

9日 北川忠氏瑞宝単光章受章祝賀会

14日 石狩教育研修センター組合議会定例会 (北広島市)

16日 石狩町村議会議長会定例会 (札幌市)

16日 議会運営委員会

20日 議員協議会

23日 月新水道企業団議定会 (月形町)

24日 地域おこし協力隊との懇談会

21日 石狩北部地区消防事務組合議会定例会 (石狩市)

22日 村建設協会通常総会 (石狩市)

28日 新年度予算正副議長説明会

28日 議会運営委員会

28日 議員協議会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

【3月】

議員協議会
第1回村議会定例会
(16日)

6日 石狩管内町村行政懇談会 (札幌市)

7日 札幌広域圏組合議会定例会 (札幌市)

9日 北川忠氏瑞宝単光章受章祝賀会

14日 石狩教育研修センター組合議会定例会 (北広島市)

16日 石狩町村議会議長会定例会 (札幌市)

16日 議会運営委員会

20日 議員協議会

23日 月新水道企業団議定会 (月形町)

24日 地域おこし協力隊との懇談会

21日 石狩北部地区消防事務組合議会定例会 (石狩市)

22日 村建設協会通常総会 (石狩市)

28日 新年度予算正副議長説明会

28日 議会運営委員会

28日 議員協議会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

【4月】

議員協議会
第1回村議会定例会
(16日)

6日 石狩管内町村行政懇談会 (札幌市)

7日 札幌広域圏組合議会定例会 (札幌市)

9日 北川忠氏瑞宝単光章受章祝賀会

14日 石狩教育研修センター組合議会定例会 (北広島市)

16日 石狩町村議会議長会定例会 (札幌市)

16日 議会運営委員会

20日 議員協議会

23日 月新水道企業団議定会 (月形町)

24日 地域おこし協力隊との懇談会

21日 石狩北部地区消防事務組合議会定例会 (石狩市)

22日 村建設協会通常総会 (石狩市)

28日 新年度予算正副議長説明会

28日 議会運営委員会

28日 議員協議会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

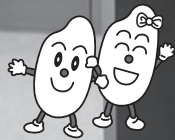
28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

28日 議会運営委員会

一般質問

**避難所、シルバー人材、セキュリティ対策
国保税の減免、農業対策など**



～4人の議員から6項目を問う～



平成30年第1回村議会定例会が3月7日から3月16日の10日間の日程で開催され、議会最終日、4人の議員が質問し、石塚村長に答弁を求めました。

○植島議員 質問
昨年12月25日の強風により、住宅、納屋、農業用ハウス、道路防雪柵の倒壊など甚大な被害があった。被害に遭われた皆様に対し、お見舞いを申し上げます。さて、村内には各地区に災害時の避難所があるが、充分とは思えない気がする。

Q

備蓄品を避難所に備えてはどうか

A

物資の運搬訓練を継続して実施し、万全を期したい

一般質問

植島 豊 議員

今回、避難所として開設する施設に対し、物品を集中し対応することができた。村では、防災避難訓練時に物資の運搬訓練も実施しており、今後も継続して実施していくとともに、避難所運営の訓練も定期的に実施し、今後の防災対策や避難所運営に万全を期したいと考えているので、ご理解を願いたい。

○石塚村長 答弁
食料品等や防災資機材などの備蓄品は、各避難所に物資を効率よく運ぶ事ができるよう、防災倉庫に一括して管理している。

1地区に約100人分の非常食や暖房、発電機の有効活用、長時間の寒さに対する毛布等を備えの他、水洗トイレも今では電気による流水のところもあり、この対応も工夫が要る。備蓄品を避難所に備えることにより、運ぶ時間が短縮され、職員の身の安全にも寄与すると思うが、村長の考えを伺いたい。

一般質問

南部隆志 議員

Q シルバー人材センターが必要では

A 会員確保などの課題があり、設置は難しいが、近隣市町との連携を検討したい

○南部議員 質問

今日、人手不足がどの業種においても言われている。また、労働環境もこの数年で大きく変わり、再任用雇用制度により、希望すれば退職後の数年間は働く環境が整っている。その反面、各地の人材セ

ンターでは人材不足と言われ、離職者で身に付けた資格や技能を活かして、働くことを希望している方もいると思われる。

また、老人の一人暮らし特に女性が増えて、通院のお手伝い、買い物、蛍光灯交換などの雑務、話し相手などと実生活に直結する業務が増えてくると予想されていますし、要望が増えているようです。

そこで、本村においても人手不足は顕著であることから、他の市町村で行われている「シルバー人材センター」が必要と思うが、村長の考えを伺いたい。

○石塚村長 答弁

過去に、社会福祉協議会で、センターの設置に向けて検討したが、需要と供給のバランスを保つていくのは難しいとして、設置するまでは至らなかったと、伺っている。

会員の確保や受託事業の確保などの課題があり、本村のような小規模な自治体

は、採算が合うようなシルバー人材センターの運営は非常に難しく、仮に設置しても、村から多くの仕事を提供し、運営にかかる人的、財政的支援も必要と考えられ、センターの設置は、大変難しいと考えている。

Q 役場パソコン等のセキュリティ対策の状況は

A セキュリティ研修などを行い、徹底している

○南部議員 質問

役場、国、道、各種関係機関は、個人情報など漏れてはいけない情報が集まり、その管理等は最大限でなければならぬ。

そこで、役場のパソコン等の情報システムとセキュリティ対策の状況を村長に伺いたい。

○石塚村長 答弁

住民記録情報を管理している住民基本台帳システム等のデータについては、システム委託業者のデータセンターで管理しており、端末の操作については、担当の職員以外が扱えないようにパスワードと静脈認証による二要素認証を導入し制限している。

これらの庁内ネットワークやセキュリティ対策については、村が委託した業者が一括管理しており、万全な対策を実施している。

情報の持ち出しについては、人為的な情報流出が起きないよう職

員にはセキュリティ研修などを行い、徹底している。しかしながら、今後は、マイナンバー制度もすでに始まっていることから、より強固なセキュリティ対策を実施していかなければならないと考えており、平成30年度からは、情報系の専門職員を新規に採用し庁舎における総合的な情報システムの管理とセキュリティ対策の指導などを行いたいと考えているので、ご理解を願いたい。



住民基本台帳システムのセキュリティ対策（静脈認証中の担当職員）

一般質問

菊地清美 議員

Q

国保加入世帯18歳未満の子どもが3人以上いる世帯の国保税を第3子以降の均等割分を免除しては

A

全員が恩恵を受けるような公平な政策でなければならぬ

○菊地議員 質問

会社員等が加入する健康保険は、被保険者の報酬額により保険料が算定されるため、扶養する子どもの人数が増えても保険料は変わらない。

しかし、国民健康保険税は世帯内の加入者数に均等

割が賦課されるため、子ども的人数に応じた保険税を負担することになる。

昨年、埼玉県ふじみ野市では18歳未満の子どもが3人以上いる世帯の第3子以降の均等割分を所得制限なしで全額免除した。

全国知事会では、子どもに係わる保険料（均等割）の軽減に対して国庫負担金の減額措置をとらないことを要請している。

子育て支援では他市町村の先端をいつている新篠津村だが、国保についても先をいつていただきたいと思うが、村長の考えを伺いたい。

○石塚村長 答弁

このような事業を実施するのであれば、減免分は、他の被保険者の負担になり、村が実施する「子育て支援」事業となれば、該当する方の全員が恩恵を受けるような公平な政策でなければならぬと考える。

ただ、現在も人口減少化や少子化は、進んでいるの

一般質問

大塚裕樹 議員

Q

冬期間の停電対策で発電機等に一部助成しては

A

個別の助成制度は難しいので、避難所施設の充実を図っていく

で歯止めをかける政策を打ち出していく必要性はあると考えている。

今後も、現在の独自事業の効果を検証し、財政状況を見ながら、新たな事業の実施や既存事業の拡充を検討したいと考えているので、ご理解を願いたい。

○大塚議員 質問

昨年12月25日に本村で、台風並みの暴風雪で市街地を中心に長時間の停電が発生した。

ある程度発電機などの備えのある園芸農家等でも、農産物が凍結するなど大きな被害となってしまう。このような状況の中で特に冬期間の深夜や吹雪の中では、村としても多くの村民を避難誘導や避難者支援は、困難であることが明らかになった。

そこで、来年度からはじまる新篠津村まちづくり総合計画の中に、住民の冬期間の停電対策のために蓄電池や発電機等の一部助成など個々の住民が備えることのできる、災害に強い村づくりの施策に取り組む考えがあるのか村長に伺いたい。

○石塚村長 答弁

当日は、防災無線により、新篠津村自治センターへの自主避難を呼びかけたが、暴風雪により避難行動を取ることが、危険を伴う状態

であった。

今後は、避難所における停電対策について十分な検討を行ない、必要な設備を確保していくとともに、札幌開発建設部や村建設協会とも連携し、避難路の確保や、避難支援も実施していく必要があると考えている。

災害に備えるための個別の助成については、その線引きが難しく現時点では、助成制度は難しいと考えている。

まずは、避難所施設の充実を図っていく、防災訓練や防災講習会等で村民の防災意識の高揚を図ってまいりたいのでご理解を願いたい。



避難所として開設した自治センター

○大塚議員 質問
 国は、今年から米生産調整見直しを行ない、水田活用の直接支払交付金が廃止になり、平成30年度からは環境保全型農業直接交付金も変わり、※1 G GAP (グローバルギャップ) に取り組まなければ交付対象外になる。この交付金が無くなれば、農業経営も急激に困難になることが想定される。また、※2 G GAP (ギャップ) の取組みは、今後の補助金にも関連していくことが想定される。村として担い手育成のためにも G A P の取組みに支

Q

GAPの取組みに支援をする考えは

A

関係機関と情報を共有し、協力をしたい

援をする考えがあるのか村長に伺いたい。

○石塚村長 答弁

この取組みは要件変更の一年目ということで、現時点ではまだ不確定な部分が多い状況であるので、今後様々な情報を関係機関と共有し、取組みへの協力をしていきたいと考えているので、ご理解を賜りたい。

※1 G G A P ≡ 農産物が安全であることを示す国際認証規格。G A P は「Good Agricultural Practice」の頭文字で、農業生産工程管理と呼ばれる。ドイツの民間団体がとりまとめたもので、食の安全、環境保全、労働安全の観点から、200項目以上のチェックを受ける。

※2 G A P (農業生産工程管理) ≡ 農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組のこと。

住民と議会の懇談会

懇談会での主な意見

テーマ 新篠津村の将来像

<コミュニティについて>

- ・ P T A の役員のなり手がいない。改革したくても、先生が異動で変わり、悪循環。
- ・ 自治会が合併すると合理的になるが、役員は若い人に集中する。定数が変わらないと何も変わらない。

<子育て環境について>

- ・ 札幌や江別と比べると、本村は子育て支援策が充実している。村外の方に、もっとアピールを。
- ・ 子供が遊べる目玉的な公園があれば、村外から子育て世帯が来ると思う。

<産業振興について>

- ・ 地元に戻っても働く場所がないとよく聞く。
- ・ 商工会女性部も高齢化により部員が減少して厳しい。商工会まつりの運営も何か考えなくてはいけない。
- ・ 道東の週1回雇っている酪農ヘルパーのように、新篠津でも何か取り組めないか。

<高齢者福祉について>

- ・ 高齢者乗合タクシーの土日運行はできないか。



平成30年3月28日、自治センター一般研修室で「住民と議会の懇談会」を開きました。
 この懇談会は、村民の皆さんに議会活動を知っていただき、皆さんの声を村政に反映することを目的に平成24年度より開催しており、今年で6回目となります。
 今回は、村の将来像をテーマに村内の青年層(商工会、J A 青年部、青年団、J A 職員など24人)を対象に意見交換を行いました。ご参加いただいた皆様に、心より厚くお礼を申し上げます。ともに、皆さんの貴重なご意見ありがとうございました。

■ 予算審査特別委員会

平成三十年度予算

一般会計ほか四特別会計予算を審議

総務費

■ 山元委員

昨年第2自治区の自治会が統合したが、自治会長活動報償金はどうなるのか。

□ 石若総務課主幹

1自治会に対し、均等割り1万8千円、世帯割は元の5自治会の世帯数に400円を乗じた額になる。

■ 大塚委員

当別町・新篠津村特別連携プロジェクト協議会負担金について、夏の東京都中野区のイベントで農協青年部を中心に物販をしてはどうか。

□ 石若総務課主幹

新年度については、夏も含めて検討したい。

■ 大塚委員

出産祝金について、第1子・2子は5万円、第3子以降は10万円が支給されるが、金額を含めて、口座振込でなく、直接手渡しをするなど住民の声を聞いてはどうか。

□ 鈴木住民課主幹

今後、金額も含めて、支給方法などを検討したい。

■ 高井委員

石狩北部地区消防事務組合負担金は前年より1400万円増加している。その理由は。

□ 林総務課長

石狩北部地区消防事務組合に役場職員を派遣した他、耐震の調査などで増加となった。

■ 高井委員

総合開発計画策定業務委託料460万円の内容を伺いたい。

□ 林総務課長

人口推計の他、アンケート調査をして村民のご意見を聞き、まちづくり総合計画を策定する。

■ 菊地委員

消防団員の報酬について、管内で統一した金額にならないか。

□ 古谷副村長

今後、石狩北部地区消防事務組合では、統一していく考えである。



植島 豊 委員長



昨年の消防訓練大会 (29. 6. 30)

精米施設建設事業 (新しのつ産米消費拡大 推進施設整備事業補助金)

村民プール建設事業などについて質疑

■藤永委員

村長は、移住定住政策を掲げているが、更に促進させる必要があると思うが。

□石塚村長

今後、お試し暮らし住宅等も検討し、定住人口の増加を図っていく。

■高井委員

戸籍総合システム更新業務委託料について伺いたい。

□鈴木住民課主幹

現在のシステム及び機器は平成25年の8月に整備してから、5年が経過し、更新時期になったので、予算を計上した。



更新時期となった戸籍総合システム

民生費

■大塚委員

介護予防事業利用者負担軽減助成金について、介護予防に力をいれてはどうか。

□金兵住民課参事

総合事業になって、介護予防サービス事業であるので、自立に向かつて重度化の防止に努めたいと考えている。

■高橋委員

高齢者乗合タクシーについて、土曜日や日曜日に運行する計画はないのか。

□吉田住民課長

土日運行の要望があるのは承知しているが、タクシーが使用される時間帯であり、運行がむずかしい。

■大塚委員

すくすく保育所砂場移転工事について、伺いたい。

□吉田住民課長

運動会の観覧席を確保するため、9本の木を伐採し、砂場を移設する。

保育士と保護者が十分に協議し、社会福祉協議会を通じて要望があり計上した。

■南部委員

児童手当について、昨年より約211万円が減額となっているが、その理由は。

□吉田住民課長

4カ月に1回、3期に分けて支払うが、延べ3422人を想定し、今回4306万円を計上している。少子化により少しずつ対象者が減ってきている。

衛生費

■山元委員

昨年11月の健診で、歯科健診がなかったが、今後どのように考えているのか。

□野村住民課参事

費用対効果で日数は減るが、受診者数を増やす努力をする。

■高井委員

北石狩衛生施設閉鎖経費負担金の支払はいつまでか。

□吉田住民課長

北石狩衛生組合の解散に伴い、負担をしているが、今回一括して支払う。



少子化により児童手当の対象者が減ってきている。

農林水産業費

■大塚委員

農業次世代人材投資事業について、新しい作物を作り所得が向上した取組みなどがあつたのか伺いたい。

□東産業建設課主幹

対象者は7人で、その内新たな作物の取組みは、2人。その内1人は平成28年度からブロッコリーを栽培し、もう1人は平成29年度より水稻直播用加工米を栽培している。

■高橋委員

有害鳥獣駆除補助金と有害鳥獣捕獲担い手確保事業補助金について伺いたい。

□東産業建設課主幹

猟銃3名、わな3名の予算を計上している。

■山元委員

新しのかつ産米消費拡大推進施設整備事業補助金は、事業主体と契約をするのか。

□佐藤産業建設課長

事業としては村の補助だが、契約等は考えていない。

■高井委員

新しのかつ産米消費拡大推進施設整備事業補助金1億4800万円の根拠は。

□古谷副村長

基幹産業である農業の振興策で、良食味米のお米を特産品として販路拡大につなげ、農業所得の向上及び税収の向上の意味合いから3分の2の補助に決定した。財源は過疎債を充当する。元利償還金の7割が交付税措置され、有利な財源を活用する。

■高井委員

クリーン農業推進協議会負担金が25万円で昨年より10万円増えている。その理由は。

□東産業建設課主幹

光熱水費や雑費等が増えた関係で、増額している。

商工費

■大塚委員

産直市場コンセント増設工事と風除室改修工事の内容を伺いたい。

□石若総務課参事

イベント等で電気を使うことが多くなり、容量が足りないため、コンセントの差し込みを今回増設する。また、暑さを凌ぐため、産直市場の風除室の上に断熱材とその上に板を入れる改修を行う。

■藤永委員

縁結び応援活動報償費について、現状の活動と新年度の取組みを伺いたい。

□石若総務課主幹

現在9名の委員がおり、平成29年度は新年度の事業について、会議を1回開催した。

委員から案も頂いたので、30年度はしっかりと活動をしていく。

■山元委員

地域おこし協力隊3名の活動と村のサポートについて伺いたい。

□石若総務課主幹

平成29年4月より、村観光協会、たつぷの湯、産直市場で活動をしているが、毎週1回集まって、イベント協力や観光パンフレット作成など精力的に活動をしている。

2年目においては、次のステップにいけるよう活動を支援したい。

■高井委員

道の駅車両通路舗装工事の施工場所はどこか。また、洗濯機や乾燥機の備品購入について伺いたい。

□石若総務課主幹

昨年、産直市場出荷者が通行する道路の工事を行ったが、秋ごろに舗装工事を予定している。また、団体のスポーツで利用される、たつぷの湯の宿泊者の要望で洗濯機2台を購入する。



活動報告を行った地域おこし協力隊の3人
(3/22:自治センター)

土木費

■山元委員

南団地建替事業建設工事について、30年度に2棟8戸を建設するが、エアコンのダクトを設けるのか。

□佐藤産業建設課長

公営住宅は、高気密高断熱で機械換気が標準で、ダクトを入れるスペースを設けることは難しい。

■高井委員

昨年完成した南団地の住宅を見て、玄関の西側の入り口は、西風で吹雪になると、雪が溜まる。スロープの除雪について伺いたい。また、住宅周りの外構はどのようなになるのか。

□佐藤産業建設課長

検討中で、北側に移動式のネットなどで対応したい。また、北側の住宅と南側の住宅の間に村道が通っているが、最終年度に道路の拡幅改良を考えている。

教育費

■大塚委員

第4地区社会教育会館実施設計委託業務について、会館は避難場所、高齢者が利用しやすい施設にするためにも住民の声を聞いて、実施設計を進めてはどうか。

□松村教育委員会教育次長

できるだけ声を反映できればと思っている。



30年度、実施設計に着手する第4地区社会教育会館

■山元委員

第4地区社会教育会館実施設計委託業務について、維持管理費等も提示し、地元の理解を得ながら、進めて頂ければと思うが。

□松村教育委員会教育次長

維持管理費等は、暖房器具も含めて、建設サイドとも十分協議をしていきたい。

■山元委員

本村では、高等養護学校演劇部の素晴らしい演劇や札幌北高吹奏楽部の合宿も行われ、芸術鑑賞に触れる機会があり、色々な形で支援ができると思うが教育長の見解を伺いたい。

□荒谷教育委員会教育長

村民の方に文化に対する意識、情緒面を高めて、豊かな生涯学習につながっていくような芸術鑑賞の機会を考えていきたい。

■藤永委員

準要保護生徒就学援助費が前年より大幅な減額になっている。現状の支給されている人数を伺いたい。

□松村教育委員会教育次長

現在、中学校6人、小学

校9人が対象で、中学校3年生が多いと修学旅行費などが增える。

■高井委員

村民プール建設工事について、屋根の雪が落ちた後のことも考えて設計をしているのか。

また、建設場所は、B & G 体育館の南側ではだめか。

□松村教育委員会教育次長

屋根については、経費や維持のことを考えて、設計しているが、雪の問題はどのような形にしても発生する恐れがあるので、出来る限りの対応を考えたい。

また、建設場所については、現在のプールの跡地などを検討したが、経費の削減に努め、渡り廊下で体育館と繋がっている方が村民の利用度が高くなると判断したので、ご理解願いたい。

■大塚委員

村営プール建設事業は、約5億円を投資する。本村

は豪雪地帯で冬の散歩は危険なので、ウォーキングなど、冬期間の施設利用も考えてはどうか。

□松村教育委員会教育次長

冬期間の利用については、今後の利用状況を含めて、必要であれば検討したい。

■高井委員

プールの解体工事について、まちづくり総合計画もあるので、保留にして、計画の中で跡地利用やプールの再利用も含めて検討してはどうか。

□石塚村長

小学校や保育所の運動会でプールのトイレを使いたいと聞いているが、屋根の部材が飛散し、安全面を考えると残すことはできない。また、プールを改修すると解体費より多額の費用がかかることから、30年度に解体をしたい。

■菊地委員

教育行政執行方針で教育長が給食費を値上げし、値上げ分を援助すると述べていたが、給食費が値上げになるのか。

□松村教育委員会教育次長

給食費1人当たり、小学校150円、中学校200円程度を値上げする方向で動いている。

食材費に係る保護者と村の負担については、1956万円に対し、給食費で1752万円、残り約204万円は村からの補てんとする。

一般会計歳入全般

■高井委員

ゴルフ場利用税交付金約500万円を計上しているが、ゴルフ場の改修の財源として充てるのか。

□石塚村長

ゴルフ場利用税交付金を財源として、ゴルフ場の修

理を行いたい。

■南部委員

乳児保育所使用料について、伺いたい。

□吉田住民課長

1歳児が4月から2カ月に1人ずつ入ることを見込み合計6人、平均保育料が1万5750円、延べ入所月42カ月を想定し約66万円0歳児は4月から3カ月に1ずつ入所し、合計3人の入所を見込み、平均保育料1万4000円、延べ入所月数27カ月を想定し、約38万円を合計104万円の予算を計上した。



平成29年4月に開所した「ひまわり保育所」(乳児保育所)

介護保険特別会計

■大塚委員

昨年より介護保険料の予算が1400万円増、会計全体では2400万円増となっているが、抑制の検討はしているのか。

□金兵住民課参事

厚生労働省の指針が示され、高齢者の自立支援で、重度化の防止がテーマになっている。

第7期の計画では、重度化防止の取組みとして住民課だけでなく、教育委員会の高齢者教育も記載した。いきいき百歳体操も積極的に普及し参加を促し、健康診断の受診者数の増加を図るなど一体的に取り組み



いきいき百歳体操サポーター養成講座 (昨年7/27)

一般会計及び特別会計全般

■高井委員

今年度、精米施設の補助金1億4800万円、村民プール建設事業で約5億円、南団地建替事業で約2億円の他、今後、診療所や月新水道企業団の水道の老朽化の対応も予想され、将来的に負担が増えてくるが、村の財政をどのように考えているのか。

□石塚村長

平成30年度は、まちづくり総合計画の策定の年度であるが、財政計画と整合性をとりながら、計画を策定する。

また、交付税が算入される有利な起債を活用し、検討しながら、財政運営を進めていく。

■高井委員

新しいのつ産米消費拡大

推進施設整備事業補助金1億4800万円について、地方税法上優遇されている団体に対しても補助をするのか。

□古谷副村長

本村の基幹産業である農業の更なる振興を目的に、農業者の所得の向上を図り、税収の向上につながるという村からの支援であるのでご理解願いたい。

■藤永委員

石塚村長初の予算編成だが、今回の予算編成や将来を見据えての村への思いについて伺いたい。

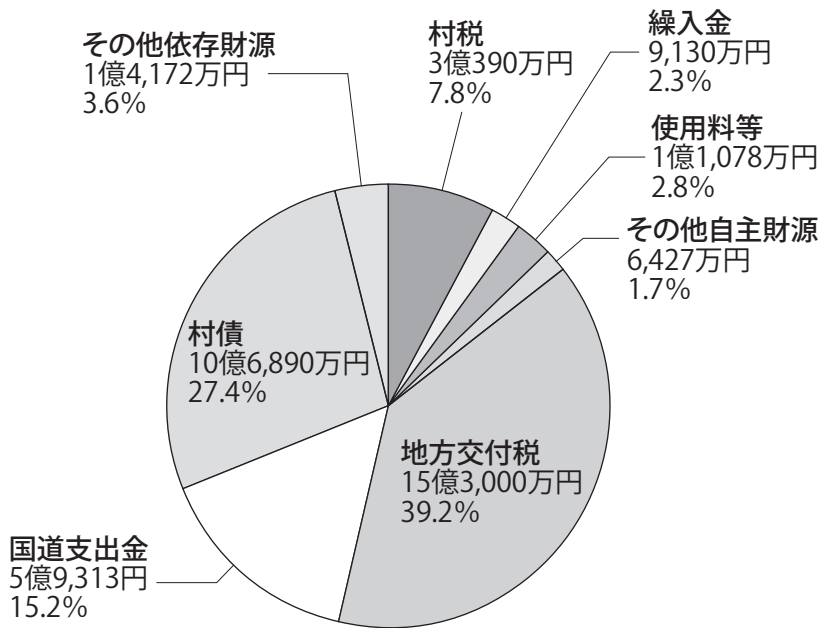
□石塚村長

①若い人から高齢者まで健康で元気に過ごせる健康で明るい村、②子供たちが健やかに生活できる村、③安心して子どもを産み育てる村、④更なる産業発展、⑤災害に強い村を念頭におき、予算編成を行った。村民にとつて、新篠津に住んで良かったと思う村にしたい。

平成30年度一般会計予算の内容

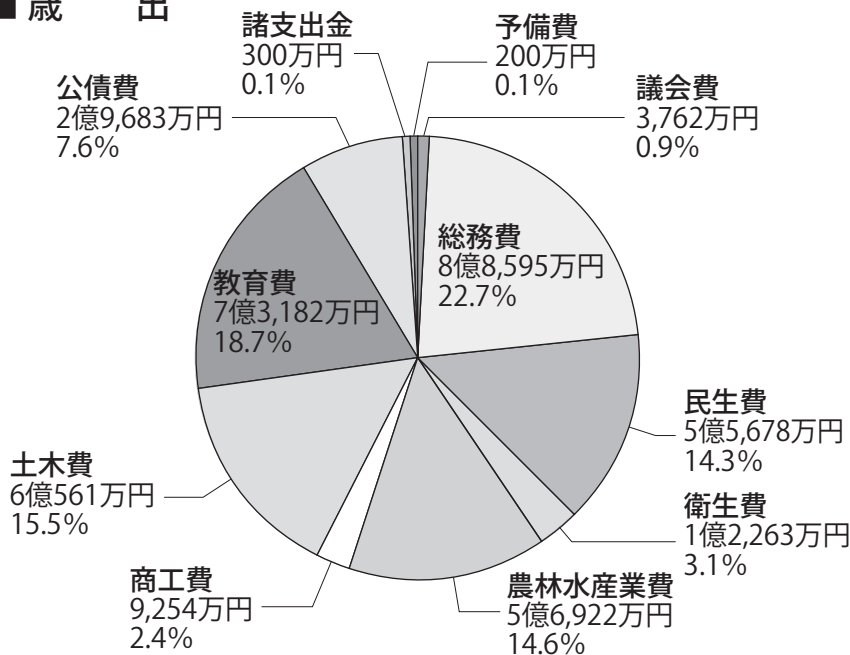
平成30年度の予算は、石塚村長にとって初めての予算編成になりました。
 農業や経済振興を柱に、人口減少対策及び少子高齢化など直面する課題の他、村
 営プール建設事業及び老朽化した南団地の建替など多様なニーズに的確に対応し、
 最小の経費で最大の行政効果が得られるよう予算の編成が行われています。
 今後も、潤いと生きがいのある村となるよう努力して参りたい。

■ 歳 入

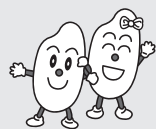


区 分	本年度予算額
自 主 財 源	
村 税	3億390万円
諸 収 入	3,909万円
繰 入 金	9,130万円
繰 越 金	1,000万円
財 産 収 入	1,518万円
使 用 料 等	1億1,078万円
依 存 財 源	
地方交付税	15億3,000万円
国道支出金	5億9,313万円
村 債	10億6,890万円
地方譲与税	5,200万円
地方消費税交付金	5,700万円
その他交付金	3,272万円
合 計	39億400万円

■ 歳 出



区 分	本年度予算額
議 会 費	3,762万円
総 務 費	8億8,595万円
民 生 費	5億5,678万円
衛 生 費	1億2,263万円
農 林 水 産 業 費	5億6,922万円
商 工 費	9,254万円
土 木 費	6億561万円
教 育 費	7億3,182万円
公 債 費	2億9,683万円
諸 支 出 金	300万円
予 備 費	200万円
合 計	39億400万円



議会通信しんしのつ

(平成30年5月1日発行)



発行／新篠津村議会 編集／議会広報特別委員会
住所／北海道石狩郡新篠津村第47線北13番地
☎(0126) 57-2111

議会ってどんなところ?

議会
一口メモ

請願・陳情



皆さんの要望を国政や道政、村政に反映させる方法の一つとして請願や陳情があります。これは地方自治法などに規定された住民の権利で村議会議員の紹介のあるものを請願、紹介のないものを陳情といいます。

請願書や陳情書が提出されますと議会では慎重に審査し採択・不採択を決定します。採択したもので国等の執行機関で適当と認められるものは、意見書等を送付する形で、皆さんの声が反映されます。

請願される方は村議会議員1名以上の署名を受けて、(署名がなければ陳情となります) 件名、要旨、理由、提出年月日、住所、氏名を記載し、押印の上、必ず議会事務局まで持参提出をお願いします。



表紙のコメント

4月6日、小学校の入学式が小学校校体育館で行われ、新一年生20人は、名前を呼ばれると元気よく返事をしていました。

平成29年度議員研修会

平成29年度新篠津村議会議員研修会が3月5日、役場2号会議室で開催し、議員のほか、村職員が研修を受けました。

講師に、(有)リバティ―北海道 代表取締役 覚張利彦氏を招き、「一人一人が変われば組織が変わる!～モチベーション その偉大な力～」をテーマに講演をして頂きました。



平成30年第2回臨時会

5月30日(水)予定

平成30年第2回定例会

6月11日(月)
～6月15日(金)予定

どなたでも傍聴できます。
皆様のお越しを
お待ちしております。



編集後記

4月には入学式が行われ、初々しい、1年生が新たな世界へあゆみ、早1か月を迎えようとしています。新しい環境の変化に対する対応や大型連休などで、日常生活が乱れやすいことから、そのため「5月病」と言われております。苦しく辛い事もあると思います。ある統計では相談相手は、年代が上がるにつれて両親よりも友達に相談するケースが多くなるようです。でも相談出来ない事もあると思います。そこで、インク会社のテレビCMで女優の吉岡里帆さんが朗読している「いろどりの詩」を紹介いたします。

もしキミが ひとりぼっちなら あたかかな色でつつみましょう
もしキミが かたをおとすなら はげましの色をおくりましょう・・・
学生の貴方はひとりぼっちでない、みんなが見守っていると気付く詩です。是非、ネットで見てください。
ご多幸、ご健勝を祈ります。
(南部 記)